

第31回田原市市民協働まちづくり会議 議事録要旨

1 日 時	令和3年10月19日（火）午後2時～4時
2 場 所	田原市役所政策会議室
3 出席者	【委員】 渡会美加子、樋口雄士、中内田卓也、長坂早苗、小澤美穂子、石川恵史、藤井吉隆 【事務局】 松井課長、河口課長補佐兼係長、下形主事補
4 連絡事項	1 会長・副会長の選任について 2 報告事項 （1）市民協働まちづくりの推進体制について （2）市の機関の取組について （3）市民活動支援制度活用状況について （4）市民活動支援センターの運営について 3 その他 ○意見交換 等

会議内容要旨

事務局：会議資料の確認

1 会長・副会長の選任について

決定事項

- 会 長：藤井吉隆委員
- 副会長：樋口雄士委員

2 報告事項

（1）市民協働まちづくりの推進体制について

○事務局：資料1・2について説明

《委員からの質疑・意見》

- ・資料2を見てもどういった事業が補助金の対象となるのか、また、具体的な申請方法等が分かりにくいため、使いにくいのでは。
→大まかな内容でも構わないので、まずは市民活動支援センターもしくは市役所でご相談いただきたい。その旨を資料に記載する。
- ・まちづくり会議の役割として、方針の検討と記載があるが、改定の時期は定期的に行われるものなのか。もしくは現状を見て何か問題があれば改定するものなのか。
→基本的に改定は10年ごとと決まっている。方針を見直さなくても、社会情勢に応じて取扱いを変えることも可能である。しかし、見直しが多くなると方針に基づいて進めることが難しくなるため、臨機応変に対応していければと考えている。

(2) 市の機関の取組について

○事務局：資料3について説明

《委員からの質疑・意見》

- ・まちづくりアドバイザーについて誰が担当しているのか等、具体的に教えてほしい。
- 地域により人数が多くなることもあるが、基本は市の職員2名で地域の計画策定時のサポート活動を行っている。
- ・地域コミュニティとNPO等市民活動団体の交流があるといい。また、双方の性格の違いの良さをうまく生かしたまちづくりが行われると望ましい。
- まちづくり方針の中でも地域コミュニティとNPO、ボランティア団体の連携について記載がある。交流が行われている自治会、校区があれば事例をご紹介いただければと思う。
- ・市民提案型委託制度の利用状況はどうか。
- 男女共同参画啓発事業を募集するテーマ提示型については例年利用がある。自由テーマ型は直近だと平成30年度採択、令和元年度に事業が実施された。なお、自由テーマ型では団体が提案する事業内容が市の取り組んでほしいものに合致しないと事業化されないことから、比較的ハードルが高いという実情があり、応募自体少ないのも確か。

(3) 市民活動支援制度活用状況について

○事務局：資料4-1・4-2について説明

《委員からの質疑・意見》

- ・平成30年以降、チャレンジ枠の利用がないが、若い世代の意欲がうまく形になっていないのか、そのあたりをどのように問題と捉えているのか。
- 若い世代だと仕事や費用の面で利用が難しいのではと思う。
- ・大学でも学生地域貢献活動というものがあり、かなりの人数の学生が参加している。学生が取り組みたいテーマを設定し、地域の方と協力しながら活動するもので、実際田原市での活動もある。他にも、Youtubeを使って東三河に関する情報発信をしている学生もいる。そうした活動から、地域と関わる意欲のある学生は一定数いると思う。財政的な支援を含めて意欲のある学生をつなげていくのはどうか。
- 補助金には活用団体の主なメンバーが田原市在住等、細かい条件がある。連携先が田原市の市民活動団体であれば可能性はあるがケースバイケースなのでまたご相談させていただければと思う。
- ・社会貢献活動災害補償制度について、こういった団体が対象になるのか教えてほしい。
- 基本的には市内に活動拠点を置く5人以上で構成する市が認めた団体が対象となる。

(4) 市民活動支援センターの運営について

○事務局：資料5について説明

○渡会委員：しみんのひろばについて説明

《委員からの質疑・意見》

- ・しみんのひろばは、団体どうしのつながりが生まれるイベントで意義があるものだと思うが、交流は盛んに行われたか。
- 普段別々に活動している団体が1年に1度集まる機会。今回サンテパークで開催したことによ

り、他団体のブースに足を運びやすかったことから交流がしやすかった。

- ・市民活動支援センターのさらなる周知のため、たはら市民活動応援隊では名称の変更や愛称をつける等の意見があがっているが、皆さんの意見を伺いたい。

→市の機関の名称であるため変更は難しい。

→市民活動支援センターという名称は、非常に意味を理解しやすい。名称の変更は定着に時間がかかることもあり難しいと思う。

→支援とついている方が何をしているのか明確で分かりやすい。

→名称に愛称を付けるのも1つの方法としてある。

3 その他

○意見交換

○事務局：資料6について説明

午後4時閉会